

# トヨ子&としやの 市政報告

2016年  
3月  
第8号

発行者：日本共産党大垣市議団  
発行日：2016年3月1日  
連絡先：大垣市室本町5-8  
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 文教厚生委  
子育て支援日本一対策委員長  
Eメール sanbal@sasada-toyoko.jp

中田としや 企画総務委  
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



## 新年度当初予算1533億円に

### 市債残高増加のなかで問われる市民生活向上への効果

次年度の当初予算案が発表されました。うち病院などの企業会計・国保会計などの特別会計を除いた一般会計は589億円。2011年度・本年度に次いで過去三番目の予算規模になっています。

その収入は、法人税率引下げ分を上回る個人所得の伸びもあり、市税全体としては前年度比0.6%増の264億円となっています。

市債としては前年度比12%減の54億円を見込んでいます。償還見込み額は元金47億円弱、利子6億円弱、計52億円。結果として一般会計分の市債残高は630億円と9億円増加する予定です。

### 新事業のあらまし

歳出について、その一部を新事業を中心に紹介します。

【地域活力創造】…駅南口の上りエスカレーターの更新と下りエスカレーターの新設(1億8千万円)

【安全・安心】…複数の専門職が認知症の疑いがある方やその家族を訪問し、初期支援、自立生活のサポートを行うチームを設置する(890万円)

【環境・エネルギー】…宇留生公園(熊野町)新設(1億円)

【子育て日本一】…子育て世代が中古住宅を取得、リフォーム時にリフォーム費用の1割(上限20万)を補助(200万円)

駅前再開発ビル内に新子育て総合支援センター整備し、交流サロンを常設、4人定員の一時預かり事業も(2億8千万円)

【かがやきライフ】…赤坂小、青墓小、西中で学習支援事業を補助(72万円)

### 三月議会の議案

3月議会の議案を紹介します。

#### 【補正予算】

① 低所得であり次年度中に65歳以上となる方に3万円を支給する臨時福祉給付金事業に4億7000万円(全額国負担、大垣市対象者は1500人)。

② 北小学校北舎のトイレ改修費に5千万円(うち国から900万円)

#### 【条例関係】

① 次年度は第六次総合計画の基本構想策定年度であり、議会の

議決すべき事件を定める条例を制定し、総合計画基本構想と、功労賞表彰を議決すべき事項に加える

② 人事院勧告(民間との給与格差を考慮し初任級2500円上げをはじめ、平均0.4%の改定、期末手当は0.1ヶ月分増の年4.2ヶ月に改定)に準じ、大垣市職員の給与に関する条例の改正

③ 市長及び副市長の給料月額削減を定める条例の継続。2003年から市長15%(105万→90万)、副市長7%(87万→81万)と減額して支給してきたが、その期限を次年度末までと条例改正するもの

他にも、人事案件や当初予算の審議等、全51議案を審議します。また委員会では養老鉄道やヤナゲンとの協議の報告がなされるも



新市庁舎中間構想より。実施設計予算2億6000万円

### トヨ子&としやの2月活動日誌

#### 笹田トヨ子

- 2日 日新幼保園新築安全祈願祭
- 5日 地域交通研究会
- 14日 養老鉄道の未来をつくる会設立総会
- 16日 「スクールソーシャルワーカーを」学習会
- 17日 議会対策会議
- 18日 西美濃福祉社会理事会
- 20~21日 自治体政策セミナー
- 22日 議会運営委員会、養老鉄道未来の会
- 23日 議会運営委員会、西濃議員団会議
- 24日 西濃母親連絡会市との懇談会
- 28日 発達相談
- 29日 予算説明会

#### 中田としや

- 5日 郭町現地相談、みおミントン
- 6日 池田町議選挙応援
- 9日 地方創生よもやま話
- 13日 「何者」読書会
- 14日 養老鉄道の未来をつくる会発足式
- 15日 県議員会議、外洲団地現地相談
- 18日 team cafe nanaフットサル
- 20日 MIE地方創生ベンチャーサミット
- 21日 婦人会学習発表会、島里署名
- 22日 予算概要
- 23日 議運、東前現地相談
- 24日 憲法集会実行委員会
- 26日 久保田弘信氏イラク報告会
- 27日 かがやきライフタウン大垣・春のつどい
- 29日 予算説明会

のと思われます。

なお、9日の一般質問については、12日、13日にケーブルテ

レビで録画放映予定です。



### 3月議会予定

- 2日 本会議(提案説明)
- 4日 一般質問順番抽選
- 9日 一般質問
- 11日 9時 子育て支援日本一対策委員会
- 13時 市民病院に関する委員会
- 14日 建設環境委員会
- 15日 経済産業委員会
- 16日 文教厚生委員会
- 17日 企画総務委員会
- 18日 本会議

## 「養老鉄道の未来をつくる会・大垣」が発足 期待される沿線自治体の要の役割

「養老鉄道の未来をつくる会・大垣」の発足式が2月14日、大垣スイトピアセンターで開かれました。慢性的な赤字で経営困難におちいていた近鉄が養老鉄道からの撤退を表明。沿線自治体住民は、養老鉄道存続を求めて「守る会」など作ってきました。

大垣市には、これとは別に「地域交通研究会」が立ち上げられて、高齢化が進む地域の中で住民の交通権をどう保障するかをめぐって議論を重ねていましたが、近鉄の表明を受けてこのたびの発足となったものです。

総会は、揖斐川・池田・神戸・養老・海津の皆さんから連帯の挨拶をうけ、顧問と5人の共同代表を選出しました。

### 多彩な顔ぶれの 顧問・共同代表

共同代表の方々から「特別支援学校の生徒にとって養老鉄道は生きた教育の場だった」、「西濃地域の動脈だ」、「高齢化で運転免許証返上は目の前。高齢者にとって公共交通機関がどれだけ大切か」

等々、養老鉄道への思いが語られました。

### 運動の3つの意義 可児顧問の発言

可児顧問はこの運動の意義とすばらしさを話されました。

- ① 様々な運動組織が統一した共同の運動になっている。
- ② 交通は1つの自治体で完結するものではなく、生活圏で交通の役割を見ていくことが大切。

この会が広域的な運動になっている。

- ③ 運動と研究が一体となっている。地域交通研究会を発足させ、路線バス・コミュニティバス・自転車・歩行者などを視野に入れている、今後とも、教育・福祉・経済などに影響を与えたことを調査していこう。

### さらに多くの皆さんの 「つくる会」へのご参加を

設立当初の会員は130名ですが、多くの皆さんの参加で養老鉄道の調査・研究をすすめるとともに、養老鉄道の存続・発展のため沿線のみなさんとのネットワークをつくっていききたいと、「養老の未来をつくる会・大垣」への参加を呼び掛けています。

**戦争法廃止2000万人署名**  
署名用紙は下記にお届けを  
〒503-0911 大垣市室本町5-8  
日本共産党西濃地区委員会



### 顧問

- 土居 靖範 (立命館大学 名誉教授)
- 可児 紀夫 (愛知大学講師 元国土交通省企画調整官)

### 共同代表

- 木村 一夫 (元大垣市連合自治会・連絡協議会会長)
- 木村 熙 (元大垣日大高校理事長 元中学校校長)
- 桐山 淳 (元大垣特別支援学校 校長)
- 作山 英雄 (元大垣南高校 校長)
- 宇佐美一紀 (元近畿日本鉄道 社員)

## 養老鉄道の未来をつくる・西濃大集会

- とき 3月12日(土) 午後1時半
- ところ スイトピアホール+音楽堂
- 1部 沿線高校のブラスバンドの演奏など
- 2部 基調講演「養老鉄道の未来を考える」

## 養老鉄道に乗って参加しよう!

会では、養老線西大垣駅、揖斐線室駅から徒歩でスイトピアセンターへのお越しを呼び掛けています。

## 街なかにも暮らして買い物難民?! 駅前ヤナゲン閉店のニュース飛び交う

2016年の年明け早々「ヤナゲン閉店」のニュースが飛び込んできました。B館をマンションに建て替えるというもので、街なかにながらにして「買い物難民が出る」という心配の声が上がっています。

市長をはじめ、興文および東の連合自治会や商店街振興組合連合会が平和堂本社に対して生鮮食品などスーパー機能の存続を強く要望していますが、今のところ見通しはたっていません。

自民党政府は、経済のグローバル化で多国籍企業が自由に経済活動ができるよう大胆な規制緩和を進めてきた結果、東京一極集中の一人勝ちで、地方の町は疲弊の一

途をたどっています。大垣市の駅前商店街もかつての賑わいはなく、中心市街地の活性化にむけ様々な対策や街中居住を誘導する対策を取ってきたところですが、大垣駅南街区の再開発ビルがこの秋完成を真近に、唯一のスーパーが閉店になるのは、地域の人々や関係者のショックは大きなものがあります。

いつも自転車で買い物に出かける婦人、「ヤナゲンでの買い物は知り合いとおしゃべりする場になっていたのに、無くなると息子たちに買い物を任せ、私は家に閉じこもることになる。認知症になるかも・・・」